http://www.wel-himawari.net

|杵築市 ひまわり

雲

え

ħ

からも

慢

心す

ることなく継続で

荘 ま 福 祉 10 サ ビス 本 年 相 談 第 委 \_\_\_ 員 口 会 目 を  $\emptyset$ 

開

2 例 タ護 7 ンテ も 材 使 施 わへり 伺 · () す 確 用 設 l  $\bigcirc$ 談 ッ 1 等 では ま 保 ま 取 事 ま ほ フ 7 あ 看 した。 ど挙 に 0 は には応募 7 故 望 護 対 間 た。 ŧ 組み 9 米 目の 0 策 い大 た 0 な 田 ゃ 不足 げ 意 () 協ス介 標 7 い地

と
区 等に 続 見等 て全 事 寄 は 故 L が 材 1 委 せ 員さん で穫 米に 7 と 0 確 7 をそ 6 募 を 保 質 1 1 例 ħ て意見 る ح ħ 9 疑 n  $\bigcirc$ اگر ぞ中 状 を た米 応  $\bigcirc$ 明 1 褥 1 況 7 瘡 答 意 か ħ かる ボラ しか当を交 を説 防 に 見 ら苦 け 苦 1 7 止入 を

を が で す る



玉 酒

で 造

数 法で

か

1

6 会しま して苦情 最 \*\*\*\* <u>~</u> 報 H ただ 望 非 き 等 非 た 非 あ 原 いあ 神 に 非 旨 る瑞  $\langle i \rangle$ 白大雲 # 社 を 非 伝 田荘 L は 髭 えた 非

年  $\bigcirc$ り ま 神 月 17 社 す で 0 あ田沓の  $\subset$ 毎

転

は

も

日にどぶろく 所 禁 ま 0  $\widehat{7}$ す だ じ 0 け 5 0 年 祭り どぶ 製 0 ħ も 造 7 続 年 が が < ろ  $\smile$ 行 ますが、伝統行  $\emptyset$ わ 神 め れます。 社 5 造は ħ 事 創 建 7 全 と

ます

元 五 ま 産 穀 す よそ 豊  $\bigcirc$ 米 穣 1 1 ろ 2 ケ 不 月 0 老 を 0 長 か キ寿 け 口 を 7 祈 つく 仕 願 拝 者 込 り ん 7

で 地

あ

きるように ま 後に、 いや地た要域 努 力 で して 瑞 が雲 1 く 荘  $\emptyset$ とを伝 ま運 営に

な以和 18

年

つ来銅

3

7 1 3

1



す 振 る 神 ま 酒 飲 わ と ħ 7

厳 開 催  $Q_{r}$ 祭 ク り さ لح  $\emptyset$ ħ 自 7 慢 1 も 1 コ 7 ~"

禁ですよー ちろ  $\dot{}$ 

本もて調た

翌 日 とっ たとい きまし 上に美味 利 も  $\subset$  $\Rightarrow$ ては お 年 用  $\emptyset$ どぶろ 者 参 うことです お 様 米 少 いどぶろくが できな  $\mathcal{O}$ 9 り 々辛か 名の 出 が 来が // 宵 を飲ん 参 宮 が か つ 加 良く つ 3 たようです。 た 利 利用者 10 出 ħ で 月 来上 ま い用た者 16 様に Н 年 が だ様 つ以



酒

ま

編集責任者 社会福祉法人ひま

### きつきケアプランステー **3** ション

評セ 価 ン 10 を 夕 月 受 9 お ま お 祉 サ る Ľ ラ 第  $\equiv$ 評 者 価

社会福祉法人ひまわり理念

利用者の尊厳を守り、敬愛の精神で接すること地域福祉の拠点となり、開かれた施設として地域に貢献

基本方針

利用者のあるがままの姿を受入れ、見守り、優しく安らぎの

利用者の意思を尊重し、利用者の立場で考え、安全で

地域の関係機関と連携し、地域福祉の推進と向上を目

・社会で通用する接遇を修得し、利用者に明るく気持ちの

良い態度で接します
・日々向上心を持って、専門機能の研鑚に努めます

ある施設にします

指します

平等な援助に努めます

ご意見の 価調査 仕 日 る 事に関 事 頃 第  $\langle \rangle$ そ 三者 から 査者 る ħ ケ の記載が多か 身 約 が 利用 良のか方 半数 先  $\bigcirc$ 心を寄せて 引き締 をお <u>\</u> 者の皆 の目 0 っか 5 た事 利 5 願 まる思 的 用 1 る思いです。こいただいていいただいている。 2 当さ は、 ゆ 者 を事 利 ま 様 せて頂 用者 に事 ケ を伺 た。 前に 様 いのの評 1

全 査による業務の適正化 自ら ビス提供 で 自己 頃 査項目に添っ 0 の業務を振り返り、 あり方を修正 価に いく為の 取り 2と考えま 第三者の 組む過 チ てスタッ ヤ ンス して 程

か齢

改めて今 ح る る ビス れを 事 ところです 感 を

社会福祉法人 ひまわり 広報部発行

0978-52-2233

に恵まれ

た事

だと

して  $\bigcirc$ 所 7 皆 と連 様 ま 1 きた 携  $\emptyset$ わ お をり い役取 と思 に立 ()  $\mathcal{O}$ な 他 つ 7 がの 7 るよ # 6 1 ` ます ビス うに ょ り 努 地 事 力 域 業

# 步步 非 非 非 非



きつき訪問看護ステー

ション

て適切な対応について考えてみましょう。 ような冷たい風に変わろうとしていますね。 そろそろインフルエンザの流行期に先立 ンフルエンザの予防について 心地良い風も肌を刺激する

す

## ンフル エンザは風邪とどう違う? ザ

者 す わ  $\bigcirc$ 邪 は ンフ り が が か 重 特 (普ね 症状 症 ル 徴で ません。 通 化 工 感冒 ン しや す が 重く 0 特に乳 は風 す で 邪 感 と似て 命幼 染 に児 力 Þ が強 も か高 1

般 に 1 に 対わ や風 ゆる み、 高 せき、 出て、 風邪 どの フル 症  $\bigcirc$ どの 状 工 // いん ザが痛は た 身い で中み鼻 症感は 心など、 状  $\mathcal{O}$ 

す

## 感染経路に つい 7

は時 感 ル や 吸 る 7 間後 染 ス · // 1 風邪 ょ ゃ 路 を吸 接触 は手に  $\sqsubseteq$ みに ()飛 込 ン つ です て起こ E フ も 0 Ţ むことに ルエ は約 感染 散 ょ 万 さまざまな 1 個 込 って飛 つ 付 て空気 1万個 に ン り  $\sqsubseteq$ 着 むことによる ザでは 個の よる で t ま び散 増 す た す ウ え 中 ウ が ウ 24 を 飛 そ る つ た飛 ル 漂 せ 主 時 沫 れル スが 「う感飛きにス 空ウ染沫や対に に 1 間 な ス 後に 感 1 76 気 イ ま を くし 染ど ょ

### インフ I ン ザ 対策 のポ 1

た 防で め、 イ 流行期前に ンフ 風邪と ル 工 同 ン ん ザ 様  $\bigcirc$ は 注 感 意 染 だけ 力 が 強 で はい

です。た生活の け①予 3 2 「うが る か か 11 2 注 たら早 意 手 に 洗  $\emptyset$ ワ 3 ク チ 点 マス 断 ン が を受け ポ 接 ク کے 種 イ を Ź 1 受 9

もは 軽 言 イン ワク え フル チン ませ す 工 ンザに が 接 種 た を とえ か 受 け か か 5 ħ かな ば 絶 9 1 7 と 放

阿

Ν Н K 出 版 今 日  $\mathcal{O}$ 健 康」 10 月 号

出

季節 る 露 稲 穂が 「〇〇の秋」を堪能しています。 きつきの里ディサー ح や う かな秋 を感じます ビスセン そん . 夕 な

年も恒例の運動会を行 を入れ参加 白に分かれ して頂きました。 はちまきをしめ気 いました。 合

ルのため、 では、手を使わず口だけというルー 良くゴー だいたり、 利用者様に白鳥や馬になっていた ほどでした。 中に投げ入れてもらったのです 上がりました。 「玉入れ」では、 山入り職員が 職員と手をつないで仲 悪戦苦闘する皆様と職 たりと、 「借り物競争」 「パン食い 数えるの お手玉をかごの とても盛り が 競争」 大変な では、

れました。 笑いに包ま して下さり では、 「お腹が 食 がら 顔を (/) |]

つ

 $\sqsubseteq$ 

職員

ア

X

あり 命応援

きつきの里 デイサービスセンター

また、 まや秋 ましたね。「秋じゃなくてもひまわらの葉に変身し、その横には銀杏がんお解かりになりましたか?人参がい ではん の名の通り秋 事  $\Rightarrow$ たね。 をお出し 盛り きのこごは など日替 付けにもひと工夫あり 秋 してお P  $\bigcirc$ 梨  $\emptyset$ わ り果物などなど・かりご飯に加え、ご をふん り ます 銀 杏 ごは んに さつま 使 h あり 皆さ さん ちょ つ り •  $\emptyset$ 栗 も

なぁ」「こり サギのお月見 るような創作 」「こりゃも お 食 !? や こったいない でしたね。 うが いで食べ なんたいと とも きら ね え かウ

が、最後はきれいがたくさんでしたていらっしゃる方 がらしばらく眺めんで~」と言いな なぁ に召 「また楽しませて 「おいしかったでえ」 」などの喜び し上が つ 7



くなるくらい笑った」と笑顔で言っ 嬉しくなっ た職員 一同でした。

て頂けました。

その他おやつで も、 芸術のな 秋を思 っわ せ

ただきま

毎月新 のに 芸」です なく

が

1

クリスマスツ月はビーズで でい 絵などで季節を思わせる飾り付けを行っまた、施設内の壁には毎月折り紙や切り に多くの利用者様が夢中になっています。 のかわいらしいマスコ フエル を作るの ます 取り 組  $\Rightarrow$ (白鳥)

作

()

# ています。

とおっし 10 **選** 月 **難** 15 **訓** ました。 やらおきたら恐ろしくて動ききらんなぁ」 無事に避難終了 員の迅速な の想定で正 訓練を行い 目に、 ゆ る方が 面玄 ま 対応で、 L 関前に た。 利 しました。 用 たくさんい 利用者 14 者 避難 時 様も 様 31 厨 「実際、 U ま 房 ら より出 名 7 緒 つ た。 火事 分で ゆ 職火災

は十分気をつけて下さい 紅葉を見に出かけましょう。 晩と冷え込んできましたね。 来月は綺麗な 体調に

# 0 月 月

とれからも頑張っち溢れていました。

らも頑張っ

の風情あるれる個性的な三楽

三楽園 デイサービスセンタ

7

います。

0 10

月

6

日

て下さい

0

応援し

## 10 味覚の秋 最も晴れや

かですがすがし

栗など山の幸が豊富な時季です 稲を目にする光景が映ります 今の食の安全性問題を考えた時 田んぼには黄金色に 昨

ります 感謝の いう安心感や、生産者の方々への身近で作物を提供してもらえると 気持ちを 生産者の方 で **t**) あの

手宣誓をしてい

ただき、

だました。

(輪

投げ

・サイコ

各競技が

玉入れ

・碁石玉送り

ゲ

 $\Delta$ 

など目 たとこ 開催さ

のではない

競を開

催

しまし

た

を多種

多彩にそろえ、

利

用

者

様に

選

介護

総

<u>۱</u> °

事

務、

しました。

でも

恒例の運動会

います。

当センター

行

事

が行われてくればで体

学

白 勝 ħ

た

積極

参

加

者スポ 10 27 ん 月 日 ー ま なんと言っても今 月11日~10月13日まで日より開催されました」!! "おおいた国体" -ツ大会も-いた用三 5大分で開催され5日まで全国障害 大分で開 ました。 年 は  $\neg$ 国ま <sup>管</sup> た 9 し 、月 ろ

ず輝

り上 て下 押 負

さり、 でし

日 を か

 $ldsymbol{\square}$ 

と

ち

望

んの

さね

ح

で

おら

0

表 ħ

輝

ま方すも

° V

日

々

練

習

で

楽

亰

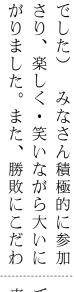
 $\bigcirc$ 

利

ら出

っ し ゃ れ

から海の幸まで存から海の幸まで存む。 ています。山の声富な献立を提供し まれた 味覚たっぷり 三楽園でも、 、ます。 「杵築市 な自 楽市」。 1然に恵 旬の •  $\sqsubseteq$ 幸 豊 l



いたみなさんの笑顔が優勝でし 優勝でした。

(下岡)

られまり を使 良い経験になりま 際に火災通 訓練も行 職員による通報 っての わ たので、 れ



瑞 杵築速 雲

練を行いました。 出火したとの設定 は火したとの設定 部にご協・ 第6回防 9月18日に本年度 火避難訓 力 頂 き、

慌てることなく かと思います 37分にす 出で入所 パ者様をホー 1 ス ムー 避難 ズに できた がル 完了  $\wedge$ 

なくホ あいにくの天気で、なと言われておりました。 来られた方もおり、 で避難放送があり、そ入所者様の中にはト した。 たことを残念 そのまま集合場 集合場所が外では 番早く来たわ お集合場所へから戻る途中 ってお あ



丸 •